



河口湖浅間神社（河口湖町河口）



山梨県富士吉田市

河口湖浅間神社の由緒書には「富士山の神、浅間明神を此の地に奉斎、……伴直真貞（ともあたいまさだ）公を祝（はふり）に同郡の伴秋吉公を祢宜（ねぎ）に任じ、富士山噴火の鎮祭を行う。これ当神社の御創祀」とあります。

浅間神社本殿に向かう表参道両脇には杉の大木が立ち、境内地にも天然記念物の七本杉（直径2 m以上、高さ40 m以上）があります。

この参道の中央に波多志神社と呼ばれる小さな祠が建っています。浅間神社の宮司さんに聞くと、この神社の創祀者である伴直真貞公を祀ってあると言います。この人物は徐福の子孫ではないかと考えられるのです。

また、ここ河口湖周辺地域は昔から機織り・裁縫が盛んであったのです。徐福あるいは同行していた技術者たちが伝え広めたと考えます。

富士吉田市には真偽は定かではありませんが「富士古文書（宮下古文書）」が残っており、徐福の行動が詳しく記されています。

[宮下古文書については東三河と徐福伝説](#)（秦の徐福は東三河に定住していた！？）を参照